

彙報

東京大学史料の保存に関する委員会彙報

第三十四回 平成5年12月16日(木)

議題

- 一、東京大学史料室の利用状況等について
- 二、平成6年度東京大学史料室予算(案)について
- 三、『東京大学史紀要』第12号について
- 四、『東京大学史料室ニュース』第11号について
- 五、平成7年度東京大学史料センター(仮称)の概算要求について
- 六、その他

摘要

議題一については報告があった。議題二については、事務局より説明があり原案とおり了承された。議題三、四についてはそれぞれ報告があった。議題五では概算要求に対する意見の交換が行われ再度書き改めることとなった。

第三十五回 平成6年2月23日(水)

議題

- 一、平成7年度東京大学史料センター(仮称)の概算要求について
- 二、東京大学史料室の利用状況等について
- 三、『東京大学史紀要』第12号について
- 四、『東京大学史料室ニュース』第12号について
- 五、学徒動員・学徒出陣調査報告について
- 六、その他

摘要

議題一については前回委員会の議論を踏

まえて書き改めた点について説明の後了承された。議題二、三、四についてはそれぞれ報告があった。議題五では経過報告があった。

第三十六回 平成6年4月21日(木)

議題

- 一、平成7年度東京大学史料センター(仮称)の概算要求について
- 二、東京大学史料室の利用状況等について
- 三、『東京大学史紀要』第13号について
- 四、学徒動員・学徒出陣調査報告について
- 五、その他

摘要

議題一については総合研究資料館長との打合せの報告があった後意見交換が行われた。議題二、三についてはそれぞれ報告があった。議題四については経過報告の後、今後の調査について意見交換があった。

第三十七回 平成6年9月27日(火)

議題

- 一、東京大学史料室の利用状況等について
- 二、『東京大学史紀要』第13号について
- 三、『東京大学史料室ニュース』第13号について
- 四、学徒動員・学徒出陣調査に関する中間報告について
- 五、その他

摘要

議題一、二、三についてはそれぞれ報告があった。議題四については総長への中間報告書としての議論がなされた。議題五については任期満了で交代される委員に対して委員長より謝辞があった。

○東京大学史料の保存に関する委員会委員及び幹事の交代

平成6年4月1日付

委員(第5条第1号) 教養学部鳥海晴教授から

三谷博助教授

委員(第5条第1号) 社会情報研究所廣井脩教授

授から吉見俊哉助教授

委員(第5条第3号) 清水忠雄前附属図書館長

から開原成允附属図書館長

委員(第5条第4号) 和達三樹総長補佐から山

本博文総長補佐

幹事(第8条) 羽田喜次前庶務部長から菅原正

弘庶務部長

平成6年7月25日付

幹事(第8条) 小川修正前経理部長から原政敏

経理部長

平成6年10月14日

「東京大学史料の保存に関する委員会委員名簿」

参照

○東京大学史料の保存に関する委員会委員名簿

委員長 ○高橋 進(大・法・教授)

委員 ○養老孟司(医・教授)

委員 ○鈴木博之(工・教授)

委員 ○野島陽子(文・助教)

委員 ○大森博雄(大・理・教授)

委員 ○田中 學(農・教授)

委員 ○岡崎 哲二(経済・助教授)

- 〇三谷 博(教養・助教授)
- 〇寺崎 弘昭(教育・助教授)
- 〇杉山 雄一(葉・教授)
- 〇羽田 正(東文研・助教授)
- 〇杉山 純多(分生研・教授)
- 〇開原 成允(図書館・館長)
- 〇佐藤 國雄(事務局・局長)
- 〇山本 博文(史料・助教授)
- 〇菅原 正弘(庶務部・部長)
- 〇原 政敏(経理部・部長)

東京大学史料室彙報

平成5年12月より平成6年10月末までの東京大学史料室の事業概要は次のとおりである。

〈資料収集・調査活動〉

〇史料寄託・受贈等

- 〇受贈図書(図書名は「東京大学史史料室ニュース」に掲載)
 - 平成5年12月〜平成6年3月 23点
 - 平成6年4月〜10月 60点
- 〇受贈ビデオ
 - 平成5年12月〜平成6年〜10月 1点

〇購入図書

- 平成5年12月〜平成6年10月 1点

〇ファイル資料

- 平成5年12月〜平成6年3月 6点
- 平成6年4月〜10月 9点

〈資料公開業務〉

〇研究活動

- 『東京大学史紀要』(年一回発行)
 - 編集：東京大学史料の保存に関する委員会
 - 発行：東京大学史料室
 - 第十二号 一九九四年三月発行
 - B5版一五二頁
 - 六〇〇部印刷
 - 担当：岡崎哲一(経済学部助教授)

〇広報活動

- 『東京大学史史料室ニュース』(年二回発行)
 - 第十二号 一九九四年三月三十一日発行
 - B5版十二頁
 - 千部印刷
 - 担当：藤森照信(生産技術研究所助教授)
- 第十三号 一九九四年三月三十一日発行
 - B5版十二頁
 - 千部印刷
 - 担当：杉山純多(分生研教授)

〇見学

- 平成5年12月9日、京都大学より百年史編纂の参考のため1名来室見学
- 平成6年3月4日、東北大学より百年史編纂参考のため1名来室見学
- 平成6年3月23日、名古屋大学より五十年史編纂参考のため1名来室見学
- 平成6年5月27日、東北大学より百年史編纂参考のため2名来室見学
- 平成6年7月26日、東洋大学より史料室運営参考のため4名来室見学
- 平成6年8月24日、呉教育委員会より博物館設立準備のため3名来室見学

〇閲覧

- 平成5年12月1日〜平成6年1月31日
 - 閲覧者数延四八名(学内二名、学外二七名)
 - 件名
 - 入学関係等調査のため『文部省往復』/中国留學生の法律教育の研究のため『東京大学百年史』/東京帝国大学教授の台湾自然調査の研究のため『東京帝国大学年報』/樹木試験場及び東京山林学校の史料調査のため『東京農林学校関係資料』/本校卒業生張漢裕(昭和8年入学)関係資料調査のため『留学生関係資料』/矢内原教授の植民地政策について研究のため『東京帝国大学一覽』/一般教育に関わる調査のため『内田祥三史料』/植民時代の台湾人留学生について研究のため『留

学生関係資料』／矢内原教授の植民地政策について研究のため『東京帝国大学一覽』／一般教育に関わる調査のため『内田祥三史料』／植民時代の台湾人留学生について研究のため『留学生関係資料』／技術史研究（特に航空研究所関係）のため『文部省往復』／英語教育の歴史研究のため『東京帝国大学一覽』／伊東忠太のアジア調査に関する研究のため『文部省往復』

●平成6年2月1日～平成6年3月31日

閲覧者数延二十名（学内三名、学外一七名）
件名

本校卒業生張漢裕（昭和8年入学）関係資料調査のため『留学生関係資料』／矢内原教授の植民地政策について研究のため『東京帝国大学一覽』／一般教育に関わる調査のため『内田祥三史料』／植民時代の台湾人留学生について研究のため『留学生関係資料』／技術史研究（特に航空研究所関係）のため『文部省往復』／井上哲次郎関係の研究のため『井上哲次郎日記』／渡辺洪基関係史料の調査のため『渡辺洪基伝 夢』／百年史編集参考のため『東京大学百年史』／明治期の卒業生調査のため『卒業者名簿』／開成学校外国人教師クラークの調査のため『東京大学百年史』

●平成6年4月1日～8月31日

閲覧者数延四八名（学内七名、学外四一名）
件名

帝国大学卒業生の就職先の調査のため『文部省年報』／育徳園の心字池についての調査のため『東

京大学百年史』／明治期のオルガン導入の歴史調査のため『文部省往復』／木下利玄関係の研究のため『木下利玄ノート』／心理学史研究のため『東京大学年報』／近代日本大学史研究のため『文部省往復』／教育方法史の研究のため『東京帝国大学五十年史』

○照会

●平成5年12月1日～平成6年1月31日

東大構内のわだつみ像の有無（昭和25年12月4日の評議会において日本戦没学生記念会からの平和記念像の寄附申込を否決）／大正6年当時の理学部植物学教室の写真の有無（無）／有沢広巳、美濃部亮吉、清水幾太郎各氏の昭和17年当時の官職を知りたい（有沢広巳氏は経済学部教授、他は他大学）／大講室内壁画を描いた小杉氏の名前は未醒、方庵どちらが正しいか（明治14年生まれで本名は国太郎、22歳から未醒、昭和になってから方庵）／御雇外国人教師コンドルの設計した建物の現存の有無（無）／帝国大学工科大学造家学科を退学した下田菊太郎氏の退学年を確定できないか（工科大学明治20年報辰野金吾の申報をみると明治19・9・20・7の間に退学したと思われる）／

東京高等学校について知りたい（大正10年設置決定、11年から尋常科授業開始、14年高等科設置、官立高校で唯一の7年制高校、昭和25年教養学部）に包括／理学部地球物理学科を卒業した勝芳邦氏の卒業年を知りたい（昭和60年）／明治41年工科

大学電気工学科を卒業した蘆田健について知りたい／列品室の歴史について

●平成6年2月1日～平成6年3月31日

第一高等学校の英文名（First Higher School）／ジェームス・リー・カンフマンの顔写真の有無（無）／山口与平、湯浅亀一の担当講座は何か（山口与平〈理学部電気工学〉、湯浅亀一〈工学部応用力学〉）／旧制高校から東京帝国大学への入学者数はどうしたら分るか（帝大新聞を紹介）／医学部整形外科ができたのは明治32年（一八九九）で間違いないか（明治39年（一九〇六）10月）／工科大学校の英文名は（Imperial College of Engineering）／岩倉使節団の渡航は何年か（明治4年11月12日）

●平成6年4月1日～8月31日

『講学余談』明治9年4月発刊の第2号の有無（無）／モースの本人直筆の資料の有無（無）／明治初期の東京大学の医学部は何年生であったか（医学本科5年）／東京帝大セツルメントについて知りたい

○その他

●平成6年1月～4月『文部省往復』マイクログロフィ

ルム作成（昭和4年～22年まで三八、五六〇コマ）

●平成6年9月20日大講堂展示室において当室の史料展示

○学徒動員・学徒出陣

平成5年12月1日～平成6年1月31日

●平成6年1月17日アルバイト2名（山本敏子、奈須恵子）採用

●平成6年1月21～22日中野室員、関係者ヒアリングのため福島大学へ出張

●平成6年4月1日アルバイト1名（高橋陽一）採用

●平成6年5月16日昨年度の調査について総長に報告

●平成6年6月8日各学部の調査開始

●平成6年6月9日成蹊学園資料館へ資料調査

●平成6年7月12日一高同窓会事務局へ高橋室長、中野室員が学徒動員・学徒出陣調査の協力依頼

●平成6年7月14日東京外国語大学へ資料調査

●平成6年10月20日総長に調査の中間報告

●平成6年10月25日学部長会議において報告

編集後記

『東京大学史紀要』第13号をお届けいたします。本号は論説3本、研究ノート1本、資料紹介3本で構成されています。執筆者および関係者各位のお力によって本号を充実したものとすることができました。編集担当委員として心から御礼申し上げます。また、引き続き本誌がさらに発展できますよう、皆様のご協力をお願い致します。